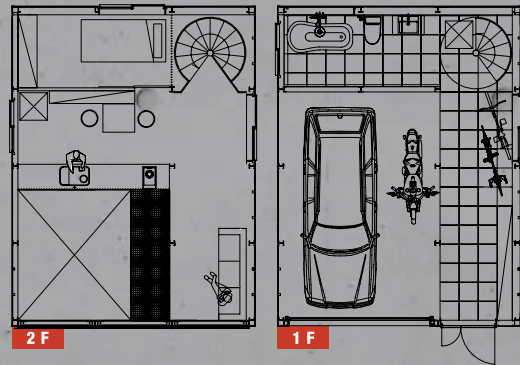


正面から見るとシンプルなファサードを構成する、LGSパネルがどのように使われているかよく分かります。道路側1Fは構造強度を確保するため「トラス」と呼ばれる特殊な梁を使用します。この梁と骨の連続性が生む表情がファサードのアクセント。店舗や事務所にも最適です。



思い切って生活感を削ぎ落とした様子がよくわかる単身者向け住宅の平面図。1Fの水まわりはガレージを垣間見ながらのシャワーの快楽。2Fは必要にして十分な間取り。「家具とか念のために付けておこうか?」という感覚との決別が頭の中も明快してくれます。ガレージ奥行きは5.4m。さらに大きなクルマの場合はプラン次第で改造可能です。

FLOOR PLAN



Theme

ハードボイルドな単身者向け住宅の提案

クルマやバイクと結婚する男の家

誰にも邪魔されず、自分の好きなクルマやバイクと一緒に寝起きする単身者のための住宅。朝の陽ざしが毎日うれしい、モーターライフの良い実例をどうぞ。



給体塗装焼き付け=パウダーコーティングの鉄骨で構成された吹き抜け空間。今回はブルーグレー色で表現しています。キッチン背面の壁にガルバリウムの外壁材を貼れば、さながらコンテナのイメージを楽しむこともできます。まるでスニッファーや演マイクのような探偵ドラマの世界観です。



ガレージの奥のやや暗い空間から、大吹き抜けを見上げると、朝の光の粒が見えます。これぞ至福の時間。クルマもバイクも喜んで、故障しなくなるかもかもしれません(笑)。家もクルマもバイクも、あなたの気持ちに言葉にしないでも理解してくれるような、可愛い奴なのです。

INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田 敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

みました。この家の立地は閑静な住宅街などではなく、町工場と肉屋のコロケがある街がイメージです。家のカタチは極めてシンプルで、ファサード(正面部分)には大胆に大きなガラス開口を設置。しかしこれは一般的なアルミサッシではなく、LGSシステムだからこそ成せるスチールフレームのフィックス窓(はめ殺し窓。これにより普段街角で見かける、家と全く異なる、シャキッとしたユニークな表情を作り出すことができます。)

内部はガレージ上部を大きな吹き抜けにすることで、所帯染みさとはかけ離れたアジト感を演出。吹き抜け周辺には、自分一人のためにも妥協なく料理できる男のキッチン。当然ステンレス製。そして苦楽を共にする戦友として革張りソファを配しています。まるで町工場のような外観ですが、外壁まわりと屋根、土間下、さらに2Fの床に分厚い板状の断熱材を施す「外断熱仕様」が、デイトナハウスの標準仕様です。世田谷ベース増築でも実証されたその居住性は、長い間の愛着の持続には欠かせません。

この家は施工床24坪で、坪単価60万円(杭工事別)で実現します。

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA(ldk), Soma YOKOI

結婚した後でも、男女が共通の趣味を楽しみながら心のコミュニケーションを成立させる。そのような話は理想なのかもしれませんが、極めて希なケースだということを最近いる人々から耳にします。まして、女性の発言力が強くなってきた昨今、クルマやバイクとの生活をスタイルの中心に置きたい男たちにとって、結婚は極端に言えば二者択一。相手のために自分らしさを限定するシビアナ決断を迫られるのです。

そんなわけで今回は、独り身妻帯者問わず、自分らしくクルマやバイクと暮らしたい男にフォーカスを当てた都市型単身者向け住宅を考えて

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの[Cチャンネル]と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

